

平成28年4月25日（月）
教育委員会事務局文化財課
内線 5620、5633
代表 076-225-1841

日本遺産の認定について

文化庁が昨年度創設した日本遺産の認定について、平成28年4月19日（火）に「日本遺産審査委員会」が開催され、「『^{しゅぎょく}珠玉と歩む物語』小松 ～時の流れの中で磨き上げた石の文化～」（小松市）が日本遺産に認定された。

1 日本遺産の認定

今回は、全国で19件（19府県）を認定（昨年とあわせて37件）

2020年までの6年間で、全国で100件程度認定予定

2 「『珠玉と歩む物語』小松 ～時の流れの中で磨き上げた石の文化～」の概要

小松の人々は、弥生時代の^{へきぎょく}碧玉の玉づくりを始まりとして2300年にわたり、金や銅の鉱石、メノウ、オパール、水晶、碧玉の宝石群、良質の凝灰岩石材、九谷焼原石の陶石などの石の資源を見出し、時代のニーズに応じて、現代の技術をもってしても再現が困難な高度な加工技術を磨き上げ、ヤマト王権の諸王たちが権威の象徴として挙げて求めるなど、人・モノ・技術が交流する豊かな石の文化を築き上げてきている。

《構成文化財》

八日市地方遺跡、那谷寺、小松城本丸櫓台石垣、滝ヶ原石切丁場、
滝ヶ原アーチ石橋群、東酒造石蔵、尾小屋鉱山 など

「小松の石文化」が日本遺産に認定

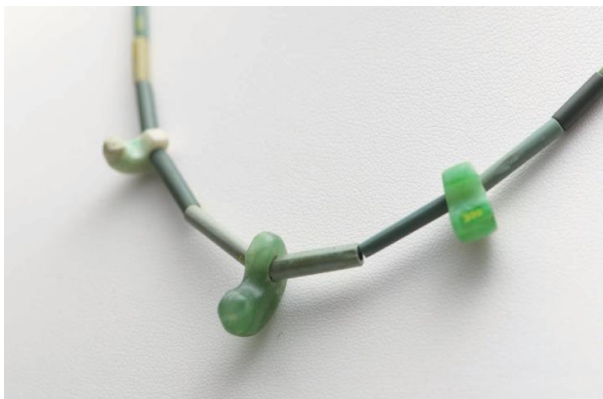
文化庁が昨年度に創設した日本遺産について、平成28年4月19日（火）に「日本遺産認定委員会」が開催され、小松市から申請した「『珠玉と歩む物語』小松 ～時の流れの中で磨き上げた石の文化～」が日本遺産に認定されました。

○『珠玉と歩む物語』小松 ～時の流れの中で磨き上げた石の文化～

小松の人々は、弥生時代の碧玉^{へきぎよく}の玉づくりを始まりとして2300年にわたり、金や銅の鉱石、メノウ、オパール、水晶、碧玉の宝石群、良質の凝灰岩石材、九谷焼原石の陶石などの石の資源を見出し、時代のニーズに応じて、現代の技術をもってしても再現が困難な高度な加工技術を磨き上げ、ヤマト王権の諸王たちが権威の象徴として挙げて求めるなど、人・モノ・技術が交流する豊かな石の文化を築き上げてきている。

○全国の日本遺産の認定

- ・今回は、全国で19件（19府県）を認定（昨年とあわせて37件）
- ・2020年までの6年間で、全国で100件程度認定予定



八日市地方遺跡の玉づくり



小松城跡本丸櫓台



滝ヶ原石切丁場



滝ヶ原アーチ石橋群